

1 本年度の重点目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 多様な生育歴・学習歴を持つ生徒に社会で自立できる学力と社会性を身につけさせるとともに教育活動全体を通して自己有用感や自己肯定感を育成し、進路希望の実現を支援する。</li> <li>(2) わかる喜び、学ぶ楽しさを持たせる授業、他を思いやり助け合える集団づくりを目指した生徒指導、逞しく健やかな身体を作る健康安全指導の三位一体の教育活動を推進する。</li> <li>(3) 生徒理解に基づく教育相談（ガイダンス機能・カウンセリング機能）を充実させる。</li> <li>(4) 学校の教育活動に関する情報の効果的な発信に努め、選ばれる学校づくりを進める。</li> </ul>
--

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
総務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各分掌や全日制及び教頭、各担当者と連携を取り合いながら、円滑な行事や会議の運営が行われており、今後も反省点や改善点を洗い出しながら、次年度に繋げるよう努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入生の確保の面で、今後も学校案内パンフレットの内容更新やHPの内容充実等の情報発信に努める。また、中学校への訪問を定期的に行うとともに、学校説明会を希望する生徒・保護者に対応して複数回実施する。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校案内パンフレットの内容更新、定時制HPの内容充実、毎月の更新等情報発信に今後も努める。中学校への訪問回数を更に増やすとともに、学校説明会を希望する生徒・保護者に対応して個別に実施することを中学校へ伝達する。また、予算要求を行い、チラシ配布等の検討を行う。</li> <li>・HPや滝川市広報、地方紙面などへの掲載を働きかけ、PRを更に充実させる。</li> </ul>	
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への取組評価、授業評価を行い、実態を把握することに役立てたが、評価内容を実態に合わせ検討する必要がある。</li> <li>・家庭学習の定着と基礎学力プリント等の提出については、継続して検討する必要がある。</li> <li>・時間割の編成については教職員の協力を得ながら今後も柔軟な対応ができるよう継続して努める。</li> <li>・教育課程委員会を新たに発足し、新学習指導要領に対応する教育課程を編成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力差の大きい生徒集団をうまく指導するなど、個に応じた学習指導の充実に努めて欲しい。</li> <li>・科目履修講座は一般の方々にも定時制を知ってもらえる貴重な機会なので、そのPRに努めて欲しい。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒は学力が二極化している。授業力向上に向けた校内研修を充実するとともに、基礎学力を確実に身に付けさせるための指導の工夫・改善するとともに、保護者に対して家庭学習の定着の協力を働きかける。</li> </ul>	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・返事や挨拶、言葉遣いなどの基本的な生活習慣について、日々の指導を丁寧に、積極的に行い教職員が同じ視点で指導を進めることが今後の課題となる。</li> <li>・生徒とのコミュニケーションを大切にし、全職員で組織的に対応できる体制づくりに努める必要がある。</li> <li>・生徒の主体性を生かした生徒会活動・行事運営に今後も継続的に努めるべきである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な生徒が在籍し指導の困難さがある中で落ち着いた学習環境が実現できている。今後も粘り強い指導を充実して欲しい。</li> <li>・自転車を含めた交通安全についての指導を充実して欲しい。</li> <li>・学校祭のバザーでは、生徒たちが生き生きと活動している。日頃の指導が行き届いていると感じられる。更に定時制生徒の活動をアピールして欲しい。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の生徒観察記録を教育支援委員会が集約・分析し、全教員に情報発信する取り組みを継続する。また、いじめ防止対策委員会で、日頃の生徒たちの人間関係についてきめ細かな情報交換を行い、また、全教職員での情報共有を継続して行う。</li> <li>・生徒の活動の様子が外部の方にはっきりと伝わるよう、情報発信に努める。</li> </ul>	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も地元企業説明会を含めた、インターンシップや外部講師を招いた進路講話など生徒の自己理解・進路希望実現に向けて努める必要がある。</li> <li>・ハローワークとの連携を密に行い、生徒の実態に沿った進路指導の検討を行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒や保護者の進路意識を高め、希望進路の実現が図られるよう、進路指導の一層の充実を図って欲しい。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路講話・進路面談・地元企業説明会を含めたインターンシップを通して、生徒個々の自己理解と目標設定・実現に繋げていく。</li> </ul>	
公表方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校HPに掲載するとともに、学校評議員、PTA役員に配付する。</li> </ul>	